

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート唐津		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用されるお子様の人数が多いが肯定的に捉えてくれる保護者様も多い。	・職員全員で接遇、保護者への対応を丁寧に行っている。	・保護者様の不安や悩みにさらに寄り添えるよう様々な意見や要望を出しやすい環境設定に努める。
2	・日ごろから情報共有に努めている。	・お子様の学校や家庭での様子や療育時の様子をこまめに職員間で情報共有し支援内容を確認しながら実施するよう努めている。	・利用日の写真や様子について保護者への共有をさらに増やしていけるようにする。
3	・職員の連携が取れている。	・どの職員も挨拶を大切に捉え実践できている。 ・困ったことを相談しやすい関係性がある。 ・できないことを助け合える関係性がある。	・お互いの良いところを褒めあう。 ・職場環境をよりよくするために積極的に意見を出し合い高めあう。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携において件数的が少ない。	・前例が少なく進め方がわからない。	・施設長との相談のもと他事業所交流を増やしていく。 ・地域の情報を積極的に取り入れ企画していく。
2	・兄弟や家族と一緒に参加できるイベントが少ない。	・前例が少なく、企画に踏み切りにくい。	・家族参加型の保護者会や季節のイベントを新たに企画し増やしていく。
3	・非常時の訓練に参加できる児童に限られている。	・訓練日に利用した児童と保護者しか参加できない。	・経験できる児童を増やすため訓練日を増やす。訓練ウィークとして1週間かけて支援の中に訓練を入れる。

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハート唐津
------	------------

公表日 令和8年 2月 15日

	チェック項目	評価		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	・スペースは限られているため集団で遊ぶ時には人数を半分ずつにするなど工夫して怪我や事故のないよう努めている ・運動遊び等スペースが必要な場面では、グループにわけ、仕切りをする等の工夫をしている ・プレイルームスペースを確保し見通してできる工夫を心がけている	・集団活動時に衝突がおこりやすい。 ・集団活動で動く活動ではお子様同士のぶつかりや物との接触の危険を感じる事もある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	・個別対応ができる人数配置を行っている ・バタつく時もあるが職員間で声掛けを行っている	・人が足りずバタバタする時がある ・時々職員数が少ないかなどと思う時がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・視覚的支援をベースとした環境となるよう意識している ・ヒヤリハットの情報共有を行い対策を行っている ・スケジュール等の視覚化、活動別のスペースの確保をしている ・バリアフリーではないが現状は安全面では問題ないと思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・5S活動を通じ、定期的に生活空間を見直す機会をつくっている ・5Sを職員間で周知し以前より清潔に心がけている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・パーテーションで区切り半個室化するなど対応している ・相談室を活用 ・パーテーションを使用し、その都度場の工夫を行っている ・クールダウン時はパーテーションなどを使用し環境を整えている	・クールダウンスペースはパーテーションを用いて用意しているが十分ではない ・相談室のみの個別の個室しか整っていない ・クールダウン時はパーテーションなどを使用し環境を整えている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・改善点がある際はPDCAサイクルを活用している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・アンケート実施 ・支援や業務改善について話し合う機会は設けている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎朝のミーティングにて意見を出し合うことができている ・ミーティングの際に職員の意見を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・毎朝のミーティングでピックアップし全員で検討している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・支援計画に沿った記録が定着しているため日々の支援目標を意識しながら支援をする事ができている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・行動の状況を周知し対応している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・役割分担をした上で、相談しながらプログラムを立てている	・個人任せになっていた所があった為、話し合い、改善に向かっている

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・固定化する部分、変化する部分を組み合わせた支援を行っている ・職員で見直しをミーティングでつとめている	・土曜日は様々な活動を行っているが、平日は固定化している面がある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎朝ミーティング実施 ・気付き、思った事等話しやすい環境である。情報共有もできている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	7	1	・ヒヤリハットを出し合う事でその日の振り返りをし、対策をチームで共有している ・支援終了後、共有事項・ヒヤリハットを共有し後日検証を行っている	・その日のうちに振り返りができない日もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・サークルミーティングを取り入れている ・自己選択できるよう選択肢を示すようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・移行に際しては、職員が当該事業所へ出向く等して情報共有をおこなっている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	・他事業所と長期休みの際交流を行っている	・地域のこどもの活動機会は少ないように思う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	・施設長が参加し周知している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者会にて実施 ・必要に応じて情報共有している	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	・定期的に保護者会を開催している	・兄弟同士で交流する機会は少ない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・活動の様子を諸語者に連絡している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・児童を含めた危機訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・職員で周知できるようにてんかんフローチャートを作成している	・予防接種の状況は確認できているか分からない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書がある児童はいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		・戸外活動時の安全管理について、今後見直しをしていく予定
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・朝礼終礼時、情報共有を行って分析している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束を行う事に該当する児童はいない		